

Lesson 1 Potential Uses of Optical Illusions

● : 全体に関わる内容 ①～⑥ : 各段落番号 TT : Topic Task FT : Final Task

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">読むこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●前置詞を伴う関係代名詞、動名詞の意味上の主語、受け身の完了形、倒置、付帯状況のwithを的確に把握し、本文の内容を正確に理解できる。 ●本文中で用いられた単語や熟語・表現を的確に把握し、その意味が理解できる。 ●Skill 6「物事を順序立てて述べる」の内容を踏まえて、文章を読むことができる。 ①「ウサギ・アヒルの錯視」についての説明をもとに錯視とは何かを読み取ることができる。 ②「龍安寺」で錯視がどのように使われているか、また「ポンゾ錯視」の効果について読み取ることができる。 ③部屋を広く見せる「フィック錯視」の効果について読み取ることができる。 ④駅で立体標識に見える錯視がどのように役立っているかを読み取ることができる。 ⑤交差点で立体に見える錯視がどのように役立っているかについて読み取ることができる。 ⑥錯視の限界と可能性について読み取ることができる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">聴くこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本レッスンの英文本文を聴いて、大まかな概要を把握できる。 ●本レッスンの内容についての英問や英文を聴いて、内容を正しく理解できる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">話すこと(やり取り)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本文の内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 TT: 本文で紹介された錯視を1つ選び、その錯視がどのように使われているかについてペアで伝え合うことができる。 TT: 3Dの横断歩道のデザインについて意見をペアで共有することができる。 FT: 日常生活で見られる錯視がどのように使われているか、グループで意見を交換することができる。 FT: それぞれで調べた錯視の例とその使われ方について、グループ内で話し合うことができる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">話すこと(発表)</p>	<p>FT: 錯視の例とその使われ方について話し合った結果をもとに、グループで発表することができる。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">書くこと</p>	<p>TT: 本文で紹介された錯視を1つ選び、その錯視がどのように使われているかについてメモを書くことができる。</p> <p>TT: 3Dの横断歩道のデザインの長所と短所のリストを作成し、それをもとに自分の意見を書くことができる。</p> <p>FT: 日常生活で見られる錯視がどのように使われているかを説明する文章を書くことができる。</p> <p>FT: 自分で調べた錯視の例とその使われ方を説明する文章を書くことができる。</p>